

都市物流ハブ

都市物流は都市生活の基礎である。しかしながら、貨物輸送は都市部の地域大気汚染物質の約半分の原因となっており、混雑やその他の排出物を生み出している。さらに、都市物流の関わりは電子商取引（EC）にとどまらない。商品流通の最近の傾向、リバースロジスティクス（返品管理、リサイクル、廃棄物の処理、中古品の販売等、消費者側から生産者側への物流）、ダークキッチン（デリバリーやテイクアウト専用の料理を作ることに特化した厨房施設）やダークストア（オンラインショッピング、ECサイト専用の小売店や流通センター等の倉庫）の台頭、そして規制要求の高まりにより、物流はより複雑になっている。都市部に物流が回帰する傾向と郊外のより大きな倉庫への需要の伸びという二つの傾向についても考察する必要がある。本報告書は、都市物流の複雑さを管理し、都市物流ハブを円滑に導入し、成功させるための積極的な方策について、政策立案者に的を絞った助言を提供する。

本報告書は、ITFの「都市物流ハブ」ラウンドテーブルの討議を基にした。

政策提言

- **物流は電子商取引にとどまらない。**都市物流には、配達、流通、返送、集荷、サービスが含まれる。物流エコシステムには、消費者や企業からの要求に応えるため、多様な関係者が参加している。物流の改善について検討することは、電子商取引から始まったが、今では他の部門の発展をけん引している。
- **持続可能な物流にシフトする。**都市のスペースが限られることを考えると、物流は都市部の土地の最も有益な利用方法であるとは言えない。しかし、持続可能に設計され運営された都市物流ハブなくしては、積み替えスペースが利用できないため、都市にさらに多くの車または高排出車両が増える可能性がある。
- **物流とハブに対する理解を強化する。**計画当局は、運営者及び顧客の費用を著しく増加させることなしに、物流及び関連ハブ用に最良事例ガイドライン提示し、政策の枠組みを作成すべきである。公共部門が統治し、民間部門が物流ハブの建設、運営、管理を主導すべきである。

本資料（仮訳）はOECD国際交通フォーラムが翻訳したものではないため、OECD国際交通フォーラムの公式翻訳とはみなされない。原文と仮訳の間に相違がある場合は、原文のみが有効である。